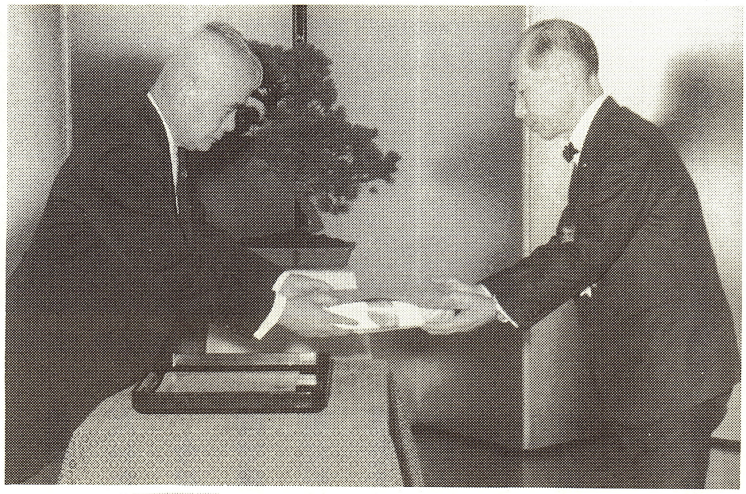

西村防衛庁長官より感謝状（昭和４６年）

私の講習を一日か二日か受けて上手になり、台湾台北高等学校（旧制）に入学し盛んに速記運動をやったのです。佐藤一佐はそのとき勉強したお方でした。宮崎恭平さんが東京大学の法科の入学式のとき、牧野という刑法の教授（漢字交じりで速く書くのを自慢にしていた人）が、「自分の講義を聞こうと思う学生はまず、速記を勉強せよ、速記を知らない学生は学生の資格がない。君たちは速記を知らないからやむを得ず、普通文字で書きたまえ」といわれたとき、宮崎さんは「ここにおります」といって手を上げたかったがやめて、すぐ私のところにこのことを知らせに来たのでした。

陸自の鈴木俊男二佐も本格的な速記の上手な人で、また、本格的な中根式の上手な人に海上自衛隊に高橋　功将補、その他上級幹部で上手な人があちこちおられ、自衛隊では非常にお世話になったものでした。